**【テーマ１】　正確で効率的な会計事務の徹底**

|  |  |
| --- | --- |
| **めざす方向** | 会計実地検査、会計事務研修、検査時等の指導や相談を通じて、公金を取り扱うことの重要性について職員の自覚を促し、地方自治法や大阪府財務規則など法令等に則った正確で効率的な会計事務が徹底されるよう、内部統制の実効性の向上に向けた取組みを進めます。 |

|  |
| --- |
| **検査・指導の充実** |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | **▶** | **＜進捗状況（R2.３月末時点）＞** |
|  | **■総合検査等の実施**・会計事務能力のレベルアップに向け、物品、財産関係、新公会計も検査項目に含めた総合検査をすべての所属に対して実施・会計事務のさらなる適正化及び効率化に向け、総合検査時等あらゆる機会を捉え、指導を実施するとともに、所属の立場に立って相談に対応**■特別検査の実施** ・抜打ちによる金庫内部の現金等の保管検査、関係帳簿等の検査の実施（スケジュール）**■総合検査**・本庁：令和元年5月から8月・出先：平成31年４月から令和2年1月**■特別検査**・令和元年度中随時 | ◇活動指標（アウトプット）**■総合検査等の実施**・前年度に検出した指導事項をもとに重点項目を設定したうえで、全所属に対して実施・監査委員事務局へ総合検査の結果を報告**■特別検査の実施**・全職場の2分の１程度の職場に対して実施◇成果指標（アウトカム）（定性的な目標）・公金を取り扱うことの重要性について職員の自覚を促すとともに、誤りの多い事務に重点を置いて検査・指導することなどを通じ、正確で効率的な会計事務が行われるようコンプライアンス意識の徹底を図る。・総合検査結果を速やかに監査委員事務局に報告するなど、同事務局との連携を図る。 | 〇総合検査・総合検査を通じ、正確で効率的な会計事務が行われるようコンプライアンス意識の徹底を図った。・重点項目６項目を設定し、全３３７所属（本庁87所属、出先機関250所属）実施（実施率100.0％）・本庁は、7月末までに実施し、その結果を監査委員事務局に報告・出先機関は、1月末までに監査委員事務局に報告　　〇特別検査・255職場に対して特別検査を実施する計画を策定し、2月末までに実施（実施率100.0％） |
| **研修・啓発の充実** |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | **▶** | **＜進捗状況（R2.３月末時点）＞** |
|  | **■会計事務研修の充実**・職員全体の会計事務能力のレベルアップを図るため、階層別研修や前年度に検出した指導事項を踏まえながら、ニーズに合わせた出前研修を実施・総合検査実施当日に、指導事項を踏まえた効率的・効果的な研修を実施**■会計事務ポータルサイトの充実**・会計事務がより正確で効率的に行われるよう、情報の共有化を図るためのポータルサイトを充実**■会計事務に携わる職員への情報発信**・会計事務理解度チェックの実施（スケジュール）**■会計事務研修**　・令和元年5月、10月、令和２年３月ほか**■会計事務ポータルサイトの充実**　・令和元年度中随時**■会計事務に携わる職員への情報発信**　・令和元年度中随時 | ◇活動指標（アウトプット）**■会計事務研修の充実**・階層別研修（出納員・会計員向け、新任・再任用職員向けなど20回程度）の実施・少人数職場への研修対応、フォローアップ研修・総合検査時研修の実施**■会計事務ポータルサイトの充実**・会計事務研修情報、会計実地検査の結果概要などの新着情報を随時発信・情報を更新した際には、庁内ウェブ等に掲載**■会計事務に携わる職員への情報発信**・会計実地検査でよく見受けられる会計事務の誤りについて理解度チェックを実施◇成果指標（アウトカム）（定性的な目標）・会計事務研修や会計事務に携わる職員に対するタイムリーな情報発信を通じ、会計事務の遅延や失念の防止等を図るなど、正確で効率的な会計事務の徹底を図る。 | ○会計事務研修（参加人数：4,022名）・階層別研修として、出納員・会計員向け、新任職員向け研修等を17回実施・所属からの講師派遣依頼に基づき、出前研修を6回実施するとともに、近隣の少人数職場などへ当該出前研修への参加を働きかけ・総合検査において、検査時研修を随時実施・総合検査において、改善・是正すべき事項が見受けられた所属に対し、フォローアップ研修を延べ７回実施○会計事務ポータルサイト・会計事務の手引（31年３月改正）の掲載をはじめ、会計事務研修の開催案内、資料及び開催状況のレポート、さらに総合検査の結果概要として、文書指導事項を項目別に掲載するなど、最新情報を発信　○会計事務に携わる職員への情報発信・会計実地検査でよく見受けられる会計事務の誤りについて理解度チェックを３回実施（第1回971名、第２回3,018名、第3回2,291名）　　上記研修、啓発を通じ、正確で効率的な会計事務の徹底を図った。 |
| **財務会計システムの円滑な運用** |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | **▶** | **＜進捗状況（R2.３月末時点）＞** |
|  | ■**会計事務の円滑な遂行**・被災時を想定した業務継続が可能な会計事務の実施・府民サービスの低下を招く恐れのある支払不能や支払遅延等が生じた場合の迅速かつ的確な対応■**財務会計システムの改善**・会計事務に携わる職員誰もがより簡素かつ効率的に会計事務を行えるようシステムを改善・法令等の改正等に応じたシステム改修（スケジュール）・災害等の緊急事態を想定した会計事務訓練の実施：　　令和元年９月、令和２年１月・システム改修内容検討：令和元年７月・システム改修計画の策定：令和元年10月 | ◇活動指標（アウトプット）・災害等の緊急時に会計事務を迅速かつ的確に行えるよう会計局業務継続計画に沿った訓練を実施・システムエラーや会計事務に携わる職員からの相談等への迅速かつ的確な対応・全庁ニーズを踏まえ、システム改修内容を精査の上、計画的に改善・法令等の改正に対応し、随時にシステムを改修◇成果指標（アウトカム）（定性的な目標）・会計事務に携わる職員誰もが、法令等に則った正確で効率的な会計事務を行える環境を整備する。 | ○会計事務の円滑な遂行　・緊急時の財務処理体制を確保するための訓練として、以下のメニューを大阪880万人訓練の部局訓練として実施（9/5,1/17）《訓練内容》・緊急支払案件の訓練・官庁会計システム相互利用協定の実行訓練・手数料納付窓口の非常時対応訓練・手数料納付窓口及びPOSレジに係る緊急時の対応要領を策定（12月）・財務会計システムのシステムエラーや問い合わせについて243件対応・毎日の資金決済処理事務において、554件の支払不能を解消○財務会計システムの改善・令和3年度のシステム更新に向け、昨年度に実施した庁内アンケートとりまとめ結果からシステム改修内容を精査、計画を策定（令和元年度10件、令和2-3年度21件）・改元関連や消費税増税に伴うシステム改修（4月～）〇会計事務の環境整備・会計事務に携わる職員誰もが、法令等に則った正確で効率的な会計事務を行える環境の整備に努めた。 |